

産業委員会

市の産業経済部（農林業、商工業、観光、雇用労働）に関する事項に対応する委員会です。

◎吉田耕造 ○庄司勝義
秋山幸則、川崎 修、河本英敏、谷口圭三
仁木豊司、西野修平、久永良一

今期定例会において、議案一件、請願一件、継続審査中の請願四件について審査した。議案一件は賛成多数により原案可決、次に、継続審査中の請願四件は、賛成多数で継続審査と決した。今議会提出の請願第七号「郊外大型店舗出店に反対する請願書」は、規制緩和の影響で格差社会が広がっており行政が一定の規制を行う必要があるという

意見、企業間で正しく競争原理が働くのが本来の姿であるとの意見、先ず土地利用計画を明確にしておく必要があるなど、意見が出され、賛成多数で採択と決した。

議案第三十号「平成十八年度津山市一般会計補正予算（第二次）」の、産業委員会の所管に属する事項の林業振興費、樹木伐採等委託料五百八十七万一千円について説明を求めた。この予算は丹後山の西斜面に風倒木処理が終了していない箇所がある。災害復旧費で処理を行うところだが、急傾斜の為、重機などが入りにくい。また、基準の復旧単価より高額になる。事業推進を図るため、県と協議した結果、治山事業で執行するものである。施行方法など調査研究し取り組んでもらいたいとの意見があった。

次に商工振興費の施設管理委託料について説明を求めた。この予算は地域交流センターで行



丹後山西斜面の風倒木

うイベント委託料である。イベント内容は、市内で開催された各イベントの人気商品を集めた物産展の開催、また東広場を利用した体験イベント等も計画されている。車などの利便性を考えれば、グリーンヒルズ津山などが良いのではという意見もあった。実施するにあたり、駐車場の誘導看板やイベントの広報が必要ではとの意見があった。ま

た農業振興費のまほらファーム事業について意見を求めた。平成十七年度から、旧ニュー農パーク事業用地の活用として事業に着手している。三・五ヘクタールの農地復旧を行い、一部に県補助を受けピオーネ栽培を行っている。本年度は農地復旧、上水道の引き込み工事を行う予定であり、平成二十年度までの事業を対象に予定している。施設の維持管理は、公募により「有限会社まほら」に業務委託をする。農業については、行政がバックアップを行うことは理解できるが、公金を投入する以上、今までの事業、そして、今後の事業展開を明確にし、事業計画を示し、また必要であれば計画の見直しも考えてほしいとの意見があった。最後に当局から平成十六年、台風二十三号災害、本年七月の豪雨災害の「災害復旧事業」について、被害件数・被害額、事業予算について報告があった。

◎ 前ページまでの下の余白の標語について、このような行為を行い、処罰されると公民権停止の対象となります。